

2023世界選手権オールイベントにおける大口徑・CPの自費参加の件

パリ2024に向けて、世界選手権がオリンピックの前年、前々年の2回開催となりました。ただし、世界選手権オールイベント（今までのすべての種目を実施する世界選手権）は、オリンピックの2年後に開催するルールとなっております。今回、東京2020が1年遅れて開催された関係で、2023年が世界選手権オールイベントとなりました。

選手強化委員会としては、世界選手権オールイベント（2023）（2023年8月開催）に大口徑300m・CPの自費参加を行うことと致します。派遣方法に関しては、下記要領にて行うことと致します。

記

1. 自費出場種目 大口徑300m 3姿勢 ・ 大口徑300m 伏射
センターファイアピストル
2. 出場上限 大口徑 3名 ・ CP 2名
3. 出場選考方法 ①大口徑 2023年全日本ライフル射撃競技選手権大会（300m）にて
BFR3×20MW 1位→ P60MW1位 → BFR3×20MW2位の順で、選考。3名に達するまで確認をする。なお、両種目とも上位3名までを下限として出場枠を繰り下げる
②2022年 全日本ライフル射撃競技選手権大会（CP）の成績を使用し、上位から2名まで派遣する。ただし、不参加者がいた場合、5位まで繰り下げる
自費負担費用 ISSF選手登録料（30ユーロ）、試合参加費、交通費・宿泊費・銃器輸入手続き費用、その他現地での費用（ISSF選手登録・試合エントリーは協会で行う）
航空券手配、銃器弾薬の輸入手続きに関しては業者を紹介するので各自依頼すること。

なお、派遣依頼書の発行は行う。時差調整日1日とフライト日を含んだものとする
（警察庁他より公務派遣として問題になる行動を厳しくチェックされている為）

以上